



文書館 もんじょかん ニュース

山口県文書館 No.45
Yamaguchi Prefectural Archives

「友愛・奉仕・躍進」のスローガンの下で —昭和38年山口国体の記録—

今年、第66回国民体育大会「おいでませ!山口国体」・第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ!山口大会」の年です。山口県での国体開催は、昭和38(1963)年の第18回大会以来、48年ぶり2度目となります。

当館は、国体関係の記録写真や資料を数多く所蔵しており、それらによって前回大会を克明に振り返ることができます。今大会の記録も確実に保存して、将来に伝えていくことが必要です。

それでは、当館所蔵の資料を通して、前回大会の様子を振り返ってみましょう。

世界新記録3・世界タイ記録1・日本新記録33

夏季大会は、9月15日から18日の4日間、宇部市を主会場に、秋季大会は、10月27日から11月1日の6日間、山口市を主会場として、32種目の競技が行われました。東京オリンピックを翌年に控え、各競技とも熱戦が繰り広げられた結果、空前の新記録ラッシュとなりました。世界新記録3、世界タイ記録1、日本新記録33、日本タイ記録14、大会新記録に至っては204を数えました。山口県勢の活躍も目覚ましく、総合成績で男子・女子ともに東京都に次いで2位となり、とりわけ、男子は首位との得点差が0.4ポイントという僅差でした。

炬火の採火式から閉会式までの各競技の様子は、県広報課が撮影した写真でたどることができます。



炬火リレー



大会旗リレー



水泳



ヨット



秋季大会開会式(マスゲーム)



レスリング



卓球



陸上競技



サッカー



柔道



バレーボール



体操

国体の誘致

山口県にとって、国体開催は長年の悲願でした。早くも昭和26年に誘致活動が開始されています。その後、昭和29年に「第16回国民体育大会山口県誘致委員会」が結成され、昭和36年開催の第16回大会誘致に向けた活動が本格化しました。その活動は、『第16回国体は山口へ』や『第16回国体に備えて』などのパンフレットから窺えます。残念ながら第16回大会の誘致は実現しませんでした。その熱意は、昭和35年12月2日に、第18回大会の開催地内定を受け、実を結びました。こうして東京オリンピックの前年にあたる昭和38年に、「オリンピックにつながる国体」として開催されることとなり、以後、準備が急ピッチで進められました。



『第16回国体は山口へ』



『第16回国体に備えて』

会場と周辺環境の整備

昭和38年山口国体は、県内69会場で各種競技が繰り広げられました。国体開催に伴い、競技施設の建設や整備が進み、各会場を結ぶ幹線道路も整備されるなど、県内の生活環境が飛躍的に充実しました。国体に合わせて新しく建設された県陸上競技場をはじめとする体育施設は、国体以後、地域のスポーツ・文化の核となりました。また、山口県旗や県民の歌も制定されました。



建設中の県陸上競技場(山口市)



依田翁記念体育館(宇部市)



道路整備(道の両脇はカンナの花)



『県民の歌』発表会(昭38.5.24)

健民運動の推進 「友愛・奉仕・躍進 ～げんきに・きれいに・しんせつに～」

昭和38年の山口国体は、山口県をあげて準備が行われ、県民が一つとなって開催された一大イベントでした。現在でも、国体に関わった多くの人々の記憶の中に鮮明に残っています。このことは、ニュース映画「県政ニュース」や記録写真のほか、大会準備や運営用に作成された資料一つひとつの中にも、しっかりと刻まれています。

この時、多くの県民が関わった取り組みに「健民運動」がありました。これは、県民一人ひとりが健やかな心身を持ち、お互いが明るく豊かな生活を築くことを目標とした運動で、花いっぱい運動や親切運動、交通安全運動、清掃美化運動などがありました。これらの運動は国体が終了後も続けられ、県民の心の財産となりました。

また、県下各地で、「おもてなしの心」が発揮され、来県者を温かく迎えました。



清掃活動



国体標準献立の作成



選手歓迎(小郡駅)



花いっぱい運動



『健民運動のしおり』

■「毛利家文書」の写真版が閲覧できます
防府市の毛利博物館に所蔵されている「毛利家文書」は、当館の「毛利家文庫」と密接な関係にある文書群です。昭和54～57年度に山口県教育委員会による調査が行われた際、多くがマイクロフィルムに撮影

され、その約二、〇〇〇枚がウェブサイトで検索できるようになりました。また、諸家文書の中からピックアップした明治末～昭和戦後の絵はがき約三、〇〇〇枚も、同様に検索できます。山口県に関わるものはもちろん、日本全国、世界各地の絵はがきが含まれています。

■写真資料や古い絵はがきがwebサイトで検索できるようになりました
当館は数多くの写真資料を所蔵しています。昭和戦前期の県庁内務部が所蔵していた写真、県広報誌用に撮影された昭和戦後～平成期の写真、田中義一



昭和38年山口国体 旗リレー (グラフ山口-山口国体)

■便利なデータベースが充実
閲覧室で次のデータベースが利用できます。ご利用ください。
▽当館所蔵諸家文書全DB
▽『萩藩閥閥録別巻』DB
▽毛利家文庫・譜録収録の中世文書DB
▽毛利家文庫・件名目録DB
(公儀事控・小々控・御書付其外後規要集等)

平成22年度の新収
諸家文書を紹介します!!



◆南家文書
今年度、一〇家、二、九六六点の諸家文書を収蔵しました。その中から南家文書を紹介します。

明治時代の南家当主小四郎は、陸軍軍人として活動した人物です。明治27年、朝鮮半島で起きた甲午農民戦争の鎮圧軍に参加しています。文書群にはこの事件に関するものが多数含まれています(井上勝生氏「甲午農民戦争と鎮圧軍に関する基礎的研究」参照)。

■平成22年度の新収諸家文書

No.	文書名	点数	主な文書の年代	文書群の特徴(関連地域、個人・家の歴史、就任役職等)
1	雨村家文書	1,596	近代～現代	収集史料／絵はがき・写真・地図・観光案内
2	大田家文書	54	近世～近代	萩藩吉敷毛利家家臣／文人
3	兼田家文書	144	近代	下松市東豊井／畔頭／戸長／学務委員／村会議員
4	栗林家文書	84	近世～昭和	山口市／畔頭／家政関係／氏子札
5	佐伯隆収集史料	49	明治～昭和戦前期	収集史料／椿家文書(萩市佐々並)
6	杉山家文書	23	昭和戦後～平成	山口市嘉川／家計簿
7	高洲家文書	443	中世～近世	備後国衆／山名家家臣／萩藩士(寄組) ▼国指定重要文化財
8	中村家文書	278	近代～現代	山口市徳地／予科練関係／教科書
9	南家文書	110	近代	陸軍軍人／甲午農民戦争関係文書
10	山本家文書	185	近世～昭和戦前期	周南市戸田／家政関係／近世年貢下札／戸田処女会

公文書を守ろう！ 活かそう！

平成23年4月1日、公文書(行政文書)の適切な管理と、歴史的に重要な公文書の保存について定めた、「公文書等の管理に関する法律」(通称「公文書管理法」)が施行されます。この法律は、国の公文書について定めたものではありませんが、地方自治体の公文書の適切な管理と保存の努力の必要性にも触れています。こうした公文書をめぐる環境が大きく変わりつつある中で、今年度、当館に関わりのあった二つの出来事を紹介します。

公文書を「守る」

平成23年2月18日、「歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議」を開催しました。これは、県内市町の文書管理担当者や、文化財担当者・図書館職員等を対象にした会議で、公文書を取りまく近年の動向や、当館のこれまでの取り組みを紹介すると共に、市町の現状や課題についての意見交換を行いました。

当日は13市町30名の参加があり、現場で抱える課題を話し合いました。

今後もこうした会議を継続して開催し、出された課題の克服を目指し、歴史的に重要な公文書を遺す努力を続けていきたいと思えます。



会場の様子

公文書を「活かす」

当館が所蔵する戦前の行政文書の内、破損が著しいなどの理由により公開できなかった文書(未指定)について、簡便な補修を施すなどして、閲覧・利用に供することとなり(総務追加等、総計65点)。



旧県庁舎売却区図(総務追加84より)

「総務」には、置県前の政事堂や岩国藩邸関係、県庁官吏履歴や県有財産調査書など、明治10年代を中心、大正初期までの文書が含まれます。また「教育」は、山口県師範学校文書が中心を占め、明治38年から昭和初期までの学校の活動が窺えます。これらは、「県庁行政文書戦前A」に含まれます。ぜひご利用ください。

文書館で生きた歴史を学ぶ！

—西京高校郷土史研究部の活動—

今年度、山口県立西京高等学校郷土史研究部5名が数回にわたって来館し、文書館資料を使った研究活動に取り組みました。当館では、その活動に対して、利用方法をアドバイスしました。

まず、6月のアーカイブズウィークでは、アーカイブズ展示や、ギャラリートーク、書庫見学ツアーを通じて、多くの歴史資料を目のあたりにし、本物の資料を持つ迫力を強く感じた様子でした。歴史探究講座にも参加し、「坂本龍馬と下関」、「山口県文書館所蔵幕末維新資料について」の講演に聴き入りしました。

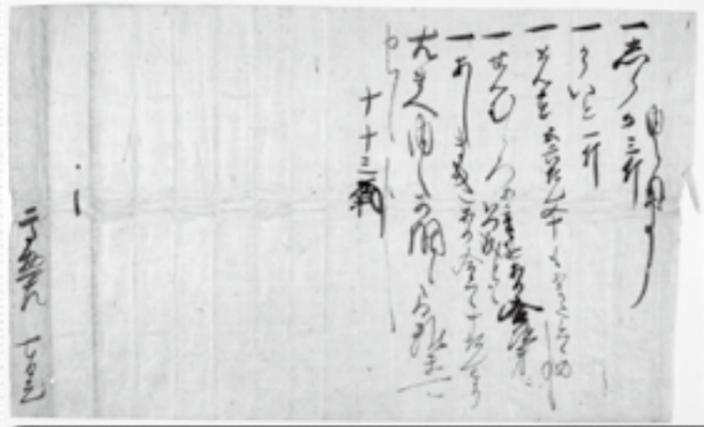
7月には、学校周辺の昔の様子を知るために、江戸時代の「地下上申絵図」や戦前の地図を使った調査を行いました。その際には、実際に資料閲覧票に記入し、閲覧の手順を体験しました。日頃、利用している図書館とは勝手が違い、少しとまどいもあったようです。

その後も資料の複写作業などのため来館を重ねました。これらの活動成果はパネルにまとめられ、9月の同校文化祭で展示発表されました。



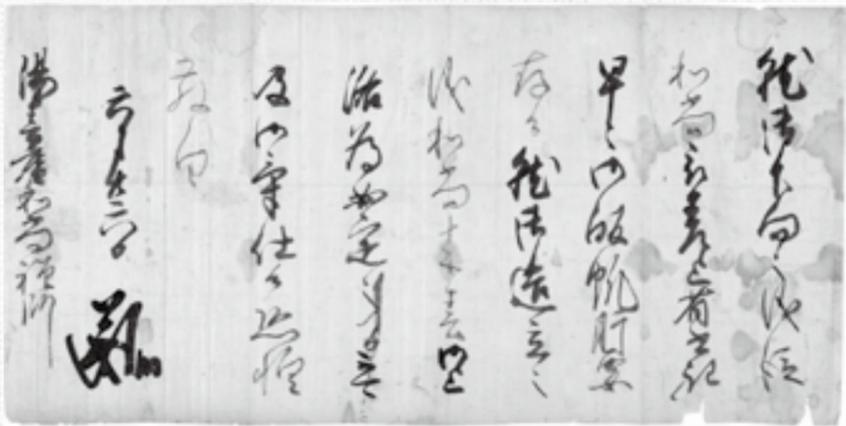
高洲家文書

今年度、高洲家文書443点が寄託されました。高洲氏は備後国衙の役人から武士に転身した杉原氏の庶流で、南北朝時代から御調郡高須社(広島県尾道市)を本拠地とした家です。室町・戦国時代には、山名氏や大内氏に従い、最終的には毛利氏に帰属して、江戸時代には萩藩士として活動しました。ここでは、国の重要文化財に指定された118点の史料の中から、中世の武士としての高洲氏の活動を伝える文書を紹介します。



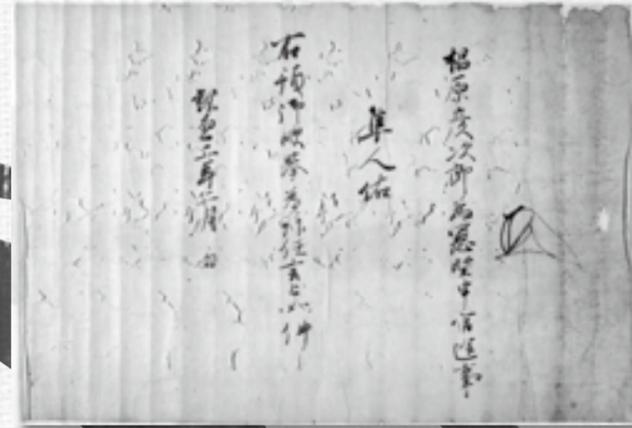
⑥ 毛利輝元覚書 [年未詳]10月13日

毛利輝元が赤間関代官を務めていた高洲元兼に白い絹糸・唐糸等の外国産の輸入品について、内々に調達するよう命じた書類です。



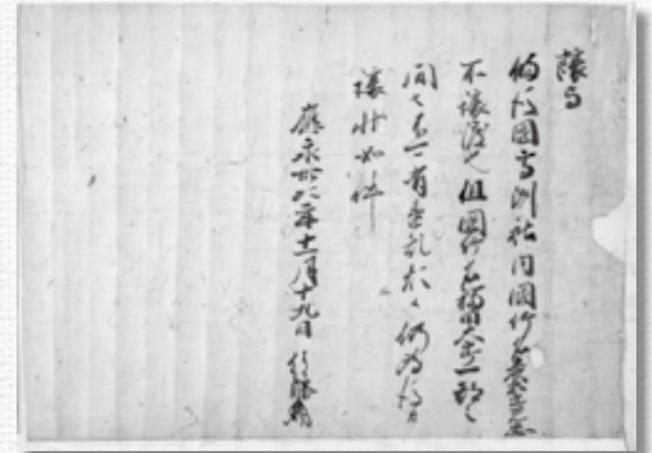
⑤ 大内義隆書状 [年未詳]6月26日

備後に影響力を及ぼした大内義隆が、陽春庵和尚に早々に帰帆するよう伝えた手紙です。



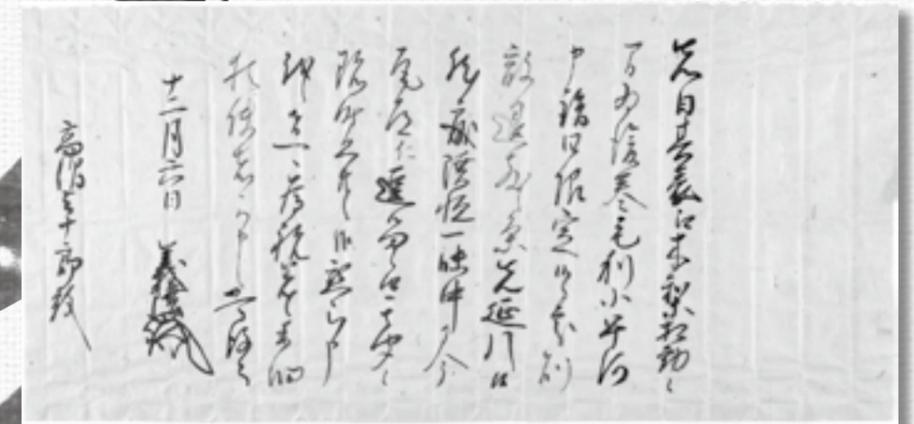
① 足利尊氏官途挙状 観応2年(1351)2月

室町幕府初代将軍足利尊氏(1305~58)が、杉原為憲(胤平)を隼人佑に推挙した書類です。幕府が分裂した観応の擾乱の際、高洲氏の先祖は尊氏・義詮方に従っていました。



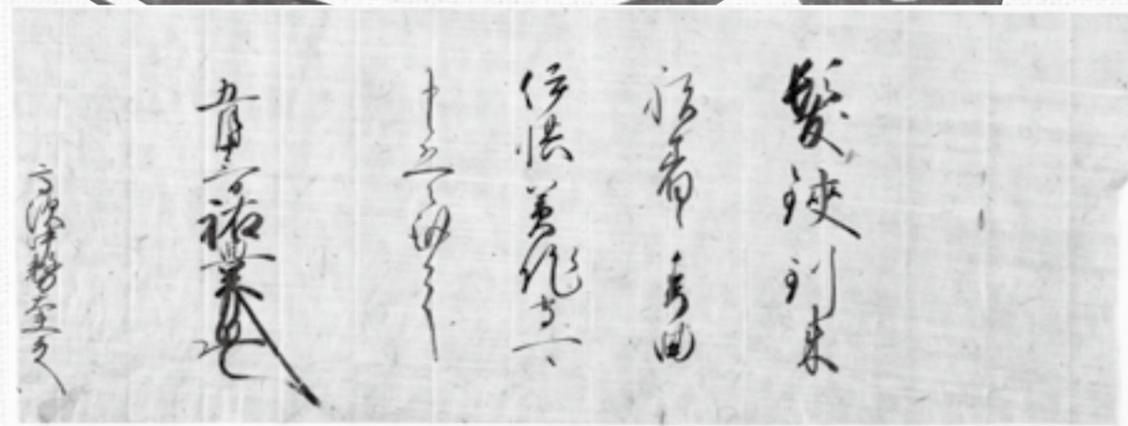
② 高洲行勝譲状 応永34年(1427)11月19日

高洲行勝が子息の彦五郎光忠に、備後国高洲社と国竹名の土地を譲った書類です。



③ 渋川義陸書状 [年未詳]12月6日

渋川義陸が兵を動かした木梨氏の様子を高洲氏に尋ねた手紙です。九州探題家の家格をもつ渋川氏は、高洲氏の主家筋に当たり、備後八幡(広島県三原市)を本拠地としていました。



④ 山名祐豊書状 [年未詳]5月13日

但馬守護山名祐豊が、髪鋏を贈られたことに対して高洲氏へ出した礼状です。かつて備後守護であった山名氏との親交が続いていたことを示しています。



日明貿易船旗 1旗 国指定重要文化財 164cm×94cm 個人蔵・当館寄託

「大明国泉州府/晋江县有商船/隻候来年六月/到此港口看旗/号比劃一同斎/来買賣余事無紀/万曆十二年十月吉日」
 「知鉦人王禄(花押)/船主蔡福(花押)/立字人李進(花押)」
 赤間関(現下関市)において、明から来航する貿易船を管理する入港証として使われたもので、「旗印を照合して一致すれば、入港して貿易する」旨が記されています。「万曆12年」(天正12年、1584)という明の元号が記され、赤間関代官高洲氏の家紋が大きく描かれています。縦長の麻布2枚を左右に継いで大型に仕立ててあり、左端には、旗竿を通す「乳」も残っています。当時の遺品として珍しく、対外関係史研究上、貴重な資料です。



[表紙写真] 昭和38年山口国体各種競技パンフレット

山口県文書館

〒753-0083 山口県山口市後河原150-1
 TEL083-924-2116 FAX083-924-2117 <http://yomonjo.ysn21.jp/>

利用時間

【開館時間】 火曜日～日曜日 9:00～17:00

【閉館日】 月曜日、祝日、月末整理日、月曜日が祝日の場合は翌火曜日
 年末年始、春秋資料整理期間

※文書館は山口県立山口図書館と同じ建物内にあります。

閲覧室へは2階へお上がりください。

※毎月の開・閉館日は、当館webサイトの閲覧室カレンダーをご覧ください。